

# 構造用ハイベストウッドで 快適な住まいが得られます。



地震に強い  
壁倍率  
4.0取得

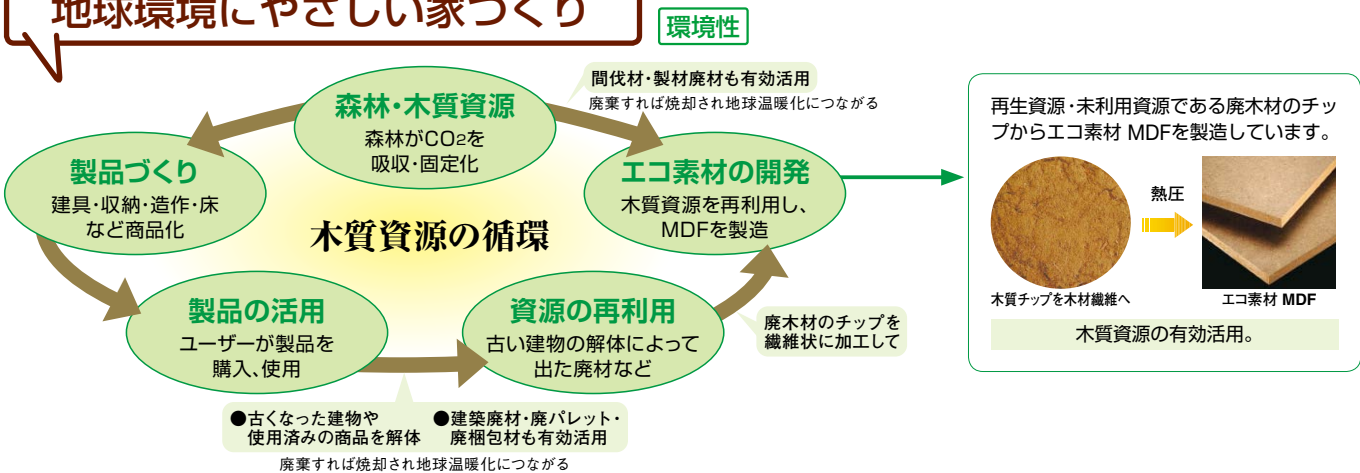
- 環境性** 地球環境、森林破壊を緩和するやさしい家に
- 透湿性** 9mm厚の構造用面材の中で透湿性No.1
- 安全性** 耐力壁として高性能地震・台風にも強い安全な家に
- 居住性** 断熱材がきちんと取まる冷暖房効率のよい家に
- 耐久性** シロアリ・腐朽菌の抗力に優れた、じょうぶな家に
- 信頼性** JIS製品で安定した品質性能確保で、安心な家に

## 構造用ハイベストウッドは

- 構造用ハイベストウッドは、壁倍率木造軸組工法 2.5 倍および 4.0 倍、枠組壁工法 3.0 倍の大臣認定の構造用面材です。
- 高耐水 MDF (メディアム デンシティ ファイバーボード) です。
- 製品には、JIS マークとホルムアルデヒド放散等級が印刷されていますので、現場での検査など、確認が容易です。(F☆☆☆☆等級)



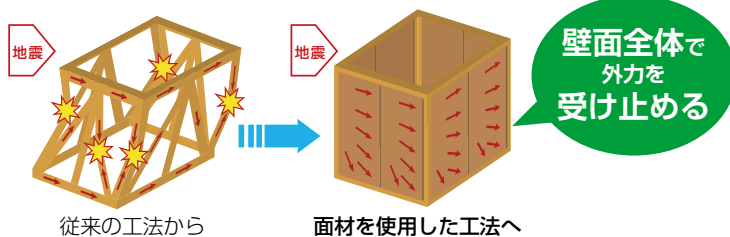
## 地球環境にやさしい家づくり



## 構造強度を高め、地震に強い住まいを

安全性 居住性

- 土台、柱、横架材を、構造用ハイベストウッドで一体化し、構造用合板などを利用し剛床とすることで、全体を一つの箱にし、壁面全体で外力を受け止め、すぐれた耐震・耐風性能が得られます。
- 構造用ハイベストウッドを張りつけた耐力壁は水平力に対して面材のせん断力で抵抗します。
- 面材工法は、壁面全体で地震力・風圧力を受け止め、バランスよく分散し、軸組の接合部への力の集中を緩和します。
- 構造用ハイベストウッド(9mm)は壁倍率 **4.0** 倍と **2.5** 倍(木造軸組工法)、壁倍率 **3.0** 倍(枠組壁工法)の認定製品です。さらに、耐力壁材として重要な面せん断力(せん断弾性係数 LW 改良法による)は、構造用合板(9mm)の約 **2** 倍の値が得られています。



## 驚異的な耐震性能を実物大住宅モデルで実証！

- 兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)、新潟県中越地震など日本で過去最大級の地震を再現した地震波で加振させ、衝撃を受けた場合の被害状況を検証しました。
- 構造用ハイベストウッドを使用した実物大住宅モデルで、連続5回※の巨大地震波に対して倒壊しない強固な構造躯体であることが証明されました(P&C-MJ SYSTEM)。



(独)防災科学技術研究所(つくば市)にて連続5回 巨大地震波 加振後の実物大住宅モデル

※再現地震波は、JMA神戸、JMA川口、BCJ波、JMA神戸110%、JMA神戸の5回実施、震度6強～7、マグニチュード6.8～7.3以上

### ■構造用ハイベストウッドと筋かいの比較

	構造用ハイベストウッド	筋かい
気密性等	すき間が少なく、外気を遮断できるため、気密性を高めやすいです	すき間からの空気もれあり、気密性がよくありません
断熱材の施工	壁の中に筋かいがないため、断熱材を均一に取付けられ施工性も抜群です	筋かいと断熱材が干渉し、特にタスキ掛けの場合、断熱材を均一に取付けることが困難です
剛性	施工が容易で、施工精度が向上し、高い剛性を保てます	施工精度や性能の差がやすく、精度が悪いと、特に筋かい両端部がガタつきやすく、剛性が低くなりがちです
方向性	あらゆる方向の力に対し均等に効き、面全体で受け止めるため、力が分散し、一部に負担がかかりにくくなります	圧縮方向、引張方向と強度の発現に方向性があります
粘り強さ	大量の釘が抵抗するため、大きな力がかかっても変形しづらく、粘り強くなります	大きな力がかかると、筋かいが折れたり、外れたりしやすくなります
イメージ	<p>力を分散させ、壁面全体で受け止めます</p>	<p>引き抜けがおこります 筋かいが折れてしまいます</p>